

「神聖復活祭」へと改称され、さらなる発展を遂げました。昌美先生は、「皆様のご先祖様と縁あるみなさんたち、そして大光明霊団と皆様が一体となり、いよいよ神聖復活の扉が開かれました」と話されました。

「神聖復活祭」は、このような長年にわたる神事の積み重ねによって可能になった行事であり、昌美先生は「それを成し



遂げたのは、会員の皆様、そして、世界各国各地で世界平和の祈り、神聖復活の印を組みつけておられる会員の皆様のご愛念であります」とおっしゃられ、また、「真の意味での神聖復活の時代が始まろうとしています。神聖復活のひびきが、光が、多



くの人たちを神聖へと導いてゆくのです」と話されました。

このような沿革と意義をもつ「神聖復活祭」は、今年、さらに大きく人類を「神聖復活」へと導いてゆくことでありましょう。そのためには、皆様方の心を込めた祈りと印が不可欠です。世界の平和と人類の目覚めと神聖復活のため、どうぞこぞってご参加ください。

世界人類が平和でありますように 神聖復活大成就

「神聖復活祭」実行委員会

# 神聖復活祭

## *The Rebirth of Human Divinity Festival*

・実施日 2026年9月6日(日)

・実施時間 11時～13時終了予定

「神聖復活祭」は、皆様のご自宅などからご参加いただくプログラムとなります。どうぞご無理のない範囲で、心を込めて行なってください。

また、インターネットでのライブ配信も行ないます。詳細はこの表紙の裏面をご覧ください。

※11時からの参加がご無理な方は、ご都合のつく時間(日本時間・海外時間共に24時間以内、9月6日(日)11:00～9月7日(月)11:00まで)に行なってください。

※海外在住の方は、現地時間で行なっていただいても構いません。

※小冊子のみで行事に参加される方は、各自のペースで行なってください。終了時間はご自由です。

※9月5日(土)、6日(日)、富士聖地は臨時休業となります。

※お電話での行事についてのお問い合わせは、前々日の9月4日(金)までお願いいたします。

## <インターネットでのライブ配信の視聴方法>

### ①白光真宏会公式ホームページ

(<https://byakko.or.jp/>) をご覧ください。

※ホームページへのアクセスは、QRコードを使っていただくこともできます。



### ②ホームページのトップページ（最初の画面）をご覧ください。

### ③トップページにある「ニュース&トピックス」にある《2026年神聖復活祭について》をクリックするとお知らせのページに移行します。

### ④お知らせページに移行しましたら、以下のボタンをクリックしてください。

神聖復活祭ライブ配信はこちら ⇐ こちらをクリックしてください

### ⑤インターネットを通したライブ中継は、11時に行事を開始いたします。当日は10時40分から接続が出来ますので、時間に余裕をもって接続してください。

※視聴時間（10時40分）前に操作を行なわれた場合、視聴可能時間内に、再生ボタンを押さないと映像が始まらない場合がございます。

※映像を視聴するには大容量のデータを使用いたします。インターネットのご契約内容により通信制限がかかったり料金が高額になったりする場合がありますのでご注意ください。

※録画は行事開始から24時間ご覧になれます。9月7日（月）午前11時までの予定です。

〔ご注意〕 アーカイブ（録画映像）をご覧になる方は、最初の20分間は「沿革と意義」「プログラム」などのお知らせが流れます。

## 目 次

- ・ 神界へと導かれるみたまは、確実に増えてきている  
西園寺昌美 P2
- ・ 見えない世界から地上界までひびきわたる皆様の祈り  
西園寺由佳、真妃、里香 P4
- ・ 「神聖復活祭」 プログラム ..... P6

1. 人間と真実の生き方 ..... P6
2. 世界平和の祈り ..... P6
3. 神聖復活の印 ..... P6
4. 縁あるすべてのみたまに感謝を送る ... P6
5. グローバルの祈り ..... P8
6. 感謝の祈り ..... P11

- ・ 「神聖復活祭」の沿革と意義 ..... P12



神界へと導かれるみたまは、  
確実に増えてきている

西園寺 昌美

皆様、今年も神聖復活祭をどうぞよろしくお願いいたします。この時期になりますと、私は真理を知ること、そして世界平和の祈りのひびきに一度でも触れるということが、どれほどすごいことかを改めて思うのであります。

「世界人類が平和でありますように」と祈ってこられた方々とご家族のみたまは、自らが神聖であることを知り、神界へと導かれていきます。七つの言霊にもあるように、祈ってこられた方々が神命を終える時には、五井先生が必ずお迎えに来られ、その愛と光に包まれ、輝かしい神界へと連れて行っていただけるのです。それは、ご本人が直接祈っていなくても同様ののです。祈る方々の存在が傍にあったお蔭で、その祈りのひびきに触れたからこそ、ご家族や身内の方々も必ず真っ直ぐに神界に行かれ、光の中で自由に、好きなように生きておられるのです。

一方で、この世的には真理と引き離されて生きてこられた方々もいらっしゃいます。そのような方は、生きる方向性を見失ったまま、低次元レベルにとどまってしまい、死後もまた暗い世界で戸惑うことになります。しかし、この世に神聖に目覚めた方が少しずつ増え、彼らが祈り、印を組むことで、その働きは地上を超えて広がっています。それによって、亡くなられた方々も迷うこと

なく、神界に平等に行かれる機会が確実に増えているのです。これは確かな進化であり、私たちの祈りと神聖復活の印を通して、目に見えない世界にも影響が及んでいることの証なのであります。

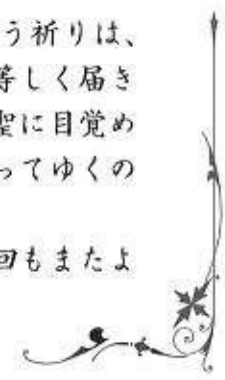
神聖復活祭は、身内の大切なみたまはもちろんのこと、さまざまな状況で苦しんできたみたまや、人知れず亡くなったみたまなど、すべてのみたまの神聖を引き上げる、年に一度のとても重要な儀式です。そして、この神聖復活祭を転換点として、日常の中で、会員の皆様それぞれが自らの神聖を自覚し、神聖復活の印を組み、神聖のひびきを放つことで、亡くなった魂はさらに神聖さを増し、変わってゆきます。

会員の皆様の真摯なる祈りと印は、今生では直接ご縁のなかったみたまたちにも届き、彼らが亡くなる瞬間、祈りのひびきとつながってゆきます。会員の皆様の祈りは、今生きている人々に光を届けるだけでなく、亡くなられた魂にも届いているのです。

こうして神聖な人々が増えるほど、より多くの心が変わり、その働きが広がってゆきます。今生で苦しんで亡くなってゆく人たちも、自らの神聖に触れれば、まっすぐに神界へと導かれてゆきます。

「世界人類が平和でありますように」という祈りは、今生きている生命にも、亡くなった生命にも、等しく届きます。すべての生命が平等に幸せであり、神聖に目覚めるようにと祈ることによって、すべてが変わってゆくのです。これは輝かしい進化であります。

そのためにも、皆様の神聖なる祈りを、今回もまたよろしくお願い申し上げます。





## 見えない世界から地上界まで ひびきわたる皆様の祈り

西園寺由佳、真妃、里香

今年も、神聖復活祭という天界と地上界の扉が開かれる日がやってまいりました。この日、私たちは愛する親類縁者の方々と交流させていただくとともに、皆様と共に世界中のみなさまたちにお祈りを捧げさせていただきます。

この行事では、法友神の先導で、私たちのご先祖の皆様、親類縁者の方々、愛する方々が地上の皆様と交流されるとともに、五井先生、守護の神霊、大光明霊団の皆様のお働きによって、この儀式でしか行なえない、目に見えない世界への働きかけをさせていただきます。

昌美先生のご挨拶にもありましたように、この行事の働きは会員の皆様のお蔭でどんどん進化しており、それは儀式中に流れるエネルギーの変化としても私たちは確かに感じております。皆様の神聖復活への祈りと印が行事の次元上昇をもたらしてくださっているのです。より多くの方々が自らの神聖に気づき、神界へと真っ直ぐに上昇するきっかけを、皆様は日々の祈りを通してつくってくださっているのです。その皆様の尊いお働きとお力を結集し、今年もさらなるエネルギーと光として、亡くなられたみなさまたちに届けていきたいと思っております。

今年も昨年と同様に、この行事は二部形式で行ないます。まず第一部は、富士聖地にて非公開で行なわれます。そこでは、親類縁者のみなさまとの交流とお浄め、グロー

バルの祈り、そして迷いの世界への祈りの儀式を執り行なわせていただきます。皆様はぜひとも、ご自宅にてご自身の親類縁者を思い、お祈りをさせていただけたらと思います。

それらがすべて終わってから11時より、オンライン配信で皆様と富士聖地をつないで第二部を行ないます。そこでは皆様と一緒に「縁あるすべてのみなさまに感謝を送る」プログラムを行ない、改めて親類縁者のみなさまとの交流をさせていただきます。親類縁者のみなさまの方々は皆様に愛と感謝を届けにいらっしゃることでしょう。そして、グローバルの祈りでは、これまでに亡くなられたみなさまへ、また世界のさまざまな事象に向けて、皆で祈りを発してまいります。そのようにして、皆様のお力はみなさまに大きな光と愛と真理を届けることとなります。

亡くなられたみなさまに神聖の目覚めを促すこの行事は、この地上界、地球人類にも大きな変化をもたらします。そして皆様の真摯なる祈りとお働きは、私たち自身の神聖をもさらに引き上げてくれるのです。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

## 「神聖復活祭」プログラム

次の1～6のプログラムを、ご無理のない範囲で行なってください。

1. 人間と真実の生き方
2. 世界平和の祈り
3. 神聖復活の印
4. 縁あるすべてのみたまに感謝を送る
5. グローバルの祈り
6. 感謝の祈り

### 1. 人間と真実の生き方 奉唱

声に出しても、出さなくても構いません。日本語のみでも構いません。

### 2. 世界平和の祈り

統一テープまたはCD使用の有無、時間はご自由です。日本語のみでも構いません。

### 3. 神聖復活の印

心を込めて、ゆっくりと1回組みます。

神聖復活の印をまだお組みになれない方は、「神聖復活大成就」と7回お唱えください。

### 4. 縁あるすべてのみたまに感謝を送る

右ページの「縁あるすべてのみたまに感謝を送る」を、亡くなった縁あるすべての方々への感謝を込めて、タイトルの「縁あるすべてのみたまに感謝を送る」から読み上げます。声に出しても、出さなくても構いません。

### 「縁あるすべてのみたまに感謝を送る」

私は神聖なる存在そのもの

私の肉体は神聖の<sup>ひとしずく</sup>一雫を受け、この世界に〇〇（自分の氏名）として誕生した

私の家族も神聖なる存在そのものなり

私の家族一人一人も神聖の一雫を受け取り、この地球に誕生した

私の親類も友人も神聖なる存在

私の親類も友人も神聖の一雫を受け、この地球に誕生した

私の上司も近所の人も地域の人もみな神聖なる存在

そして地球上に存在する、ありとあらゆる生きとし生けるものもまた、みな神聖の一雫を受け取り、この地球に存在する

そして地球上に存在した、あらゆる生きとし生けるもの、私の家族、親類、友人、上司……、私〇〇（自分の氏名）が触れるすべての命はみな、それぞれの肉体を通して、さまざまな体験を積み重ね、自らの存在は神聖なる存在そのものだということを、この地球上での体験を通して思い出したのちに、すべての肉体を脱ぎ去り、大いなる神聖なる光の源へと戻っていったのである

今、私〇〇（自分の氏名）の大切な家族、親類、友人、上司……もまた、神聖なる光となって私〇〇（自分の氏名）の進化を見守ってくれている

そして私がこの肉体での体験を通して、自らの神聖を深めることを神界から応援し、見守ってくれている

今は肉体世界に存在なき私の愛する家族、親類、友人、上司……との肉体的つながりは閉ざされていたとしても、魂のつながりは深まり、この地球を神聖なる世界に進化させるために私〇〇（自分の氏名）と常につながりつづけてくれ、地球の次元を上昇させるための共同作業を担ってくれていることに、心から感謝している

## 5. グローバルの祈り

グローバルの祈りは、天変地変、事件、事故、病気などで亡くなった人々とともに、今までに人類の犠牲となった、多くの動植物や、破壊された大自然など、地球を取り巻くあらゆる事象に対し、宇宙神の光を送ります。

次の5項目を1項目ずつ読み上げます。各項目を読み上げた後、それぞれ「神聖復活の印」を1回組みます。神聖復活の印をお組みになれない方は、「神聖復活大成就」と7回唱えてください。

各項目を読み上げる際は、声に出しても、出さなくても構いません。

- ① 私たちは人類を代表して／世界各地で発生した／豪雨や洪水、土砂災害／地震、雪崩、竜巻／火山噴火、森林火災／台風、ハリケーン、サイクロン／異常気象や気候変動による／熱波・寒波・干ばつ／太陽フレアの悪影響など／自然災害により亡くなった／世界中の人々のみたまに／宇宙神の光を送ります

※読み上げたあと、「神聖復活の印」を1回組みます



- ② 私たちは人類を代表して／あらゆる宗教対立で亡くなった／世界中の人々のみたまに／宇宙神の光を送ります。／また、世界各地での内戦・紛争／及び軍事介入／民間人の殺害や大虐殺／動物の犠牲／飢饉による餓死／難民問題による混乱／教育現場の崩壊や子どもの誘拐／民族紛争やテロ／少数民族の殺害／反体制派への虐殺／武装勢力などによる／子どもや女性への性暴力／斬首・惨殺／ドローンなどで亡くなった／世界中の人々のみたまに／宇宙神の光を送ります

※読み上げたあと、「神聖復活の印」を1回組みます

- ③ 私たちは人類を代表して／大気・海洋・土壌などの／環境汚染／電磁波などによる／人体への影響／地球温暖化による／氷河の縮小や／海水面の上昇／プレートの変動／開発による森林や／植物の衰退／海底採掘による／生態系の乱れ／絶滅危惧種／異常気象による／水不足や食料危機／原生熱帯林の消失／飲料水の汚染／生活習慣病・精神病／自殺／感染症・伝染病／薬害被害などで亡くなった／世界中の人々のみたまに／宇宙神の光を送ります

※読み上げたあと、「神聖復活の印」を1回組みます



- ④ 私たちは人類を代表して／人種差別・性差別／人身売買や臓器売買／児童の行方不明や／生徒の拉致／性暴力・虐殺／家族間での暴力や殺人／青少年による犯罪／世界各地での銃乱射／暴動や殺害／列車やバス・船舶などの事故／移民船の沈没や／施設などの火災／化学物質の流出／飛行機・軍機の墜落／建築物や炭鉱などの爆発／崩落事故や火災／あらゆる事件・事故で亡くなった／世界中の人々のみたまに／宇宙神の光を送ります

※読み上げたあと、「神聖復活の印」を1回組みます

- ⑤ 私たちは人類を代表して／世界中のあらゆる問題の／原因となった／生命尊厳の無視／動物への虐待・虐殺・殺処分／二元対立や物質偏重主義／偏った経済至上主義／小智才覚により／神域を汚してしまっている／<sup>けが</sup>発明発見／AIやクローン等の／科学万能主義／深刻さを増す情報操作や／サイバーテロの脅威／際限なき軍事兵器の開発／宇宙の軍事的利用など／真理を離れた心より生じた／すべての業想念に／宇宙神の光を送ります

※読み上げたあと、「神聖復活の印」を1回組みます



続きまして、今一度、世界中のすべての人々、生きとし生けるものへ、意識を集中して、神聖復活の印を7回組みます。

私たちが祈り、印を組む時、五井先生と一体であり、守護霊様守護神様と一体であり、神聖意識そのものになっております。その神聖意識を通して、私たちはすべての神聖ともつながり、その神聖を光で目覚めさせ、引き出していくのです。それは、五井先生、昌美先生、神々様が、今まで私たちに注ぎつづけてくださった愛そのものと同じエネルギーです。

次の文言を唱え、神聖復活の印を7回組みます。

※宣言は、声に出しても心の中で唱えてもどちらでも結構です。

「世界中の人々の神聖に、そして地球上の生きとし生けるものに、神聖復活の光を送ります」

※読み上げたあと、神聖復活の印を7回組みます。

## 6. 感謝の祈り

最後に感謝の祈りを行ないます。

世界平和の祈り、五井先生への感謝、守護霊様・守護神様への感謝、亡くなった親類縁者への感謝など、行ない方や時間はご自由です。

これで2026年「神聖復活祭」を終了いたします。

皆様のご参加、誠にありがとうございました。

世界人類が平和でありますように

## 「神聖復活祭」の沿革と意義

「神聖復活祭」は、本会5大行事の一つとして、毎年9月に開催されていますが、この行事の歴史は1971年に始まった「聖ヶ丘みたまま祭り」まで遡ります。

「みたまま祭り」は、1971年9月、五井先生が会員のご先祖様の供養を行なうということで始まりました。

「みたまま祭り」の前日、五井先生は準備が整った聖壇で、あらかじめ「みたましろ」のお浄めをなさいましたが、みたまを一身に引き受けてお浄めされた五井先生の腕は重く、もち上がらないほどだったそうです。当日は、みたまの方々が涙を流して喜び、その感激が胸に熱く伝わってきたと、五井先生は話されました。



五井先生ご帰神（1980年）後、そのお役目は昌美先生に引き継がれました。1981年3月に行なわれた「みたまま祭り」における昌美先生のご苦労の様子は、当時の白光誌に掲載されていますが、それは厳しいものでした。



「みたまの浄め」は、現在の「神聖復活祭」でも行なわれている重要な行事ですが、年を重ねるにつれ、会員のご先祖様が霊界の上位へと昇られ、行事の中でその方々との霊的な交流が始まりました。そして、昌美先生のお浄めに加え、参加者もその一端を担うようになりました。



1998年、「みたまま祭り」は、お浄めの対象を世界規模に広げ、人類全体の誤てる歴史の浄めを参加者一人一人とともに行なう「歴史の浄め祭」へと発展しました。そこでは、世界各地の災害や紛争、事件や事故、

疫病で亡くなった人々の「みたまの浄め」や、人間の神性を否定してきた誤った宗教の浄めも行なわれました。

さらに、2006年には、過去を浄めるのみならず、輝かしい未来に焦点をあてた行事となり、行事の名称も「地球黎明祭」と改められました。

昌美先生はご法話で、「なぜこの地球黎明祭が始まったのでしょうか。宇宙神様はこれ以上、人類の意識を否定的な事柄に集中させるべきではないとお考えになったのです。テロや病気や貧困に意識を集中すればするほど、それらは広がるばかりでなくなならない。それは想念の法則です。私たちは感情想念に巻き込まれてしまいます。（中略）この地に限りなく宇宙神の世界を、限りなく神の世界を現わすために、この地球黎明祭が始まりました」と話されました。



この行事で、「地球黎明の息吹き」が神界から富士聖地へと流れ込み、人類の未来は、破滅から希望へと方向転換を果たしました。

そして2017年、地球黎明祭は、直近の7月大行事で「神性復活目覚めの印」（現：神聖復活の印）が降ろされた流れを経て、

「神聖復活祭」へと改称され、さらなる発展を遂げました。昌美先生は、「皆様の神聖復活の印により、皆様のご先祖様と縁あるみなさんたち、そして大光明霊団と皆様が一体となり、いよいよ神聖復活の扉が開かれました」と話されました。



「神聖復活祭」は、このような長年にわたる神事の積み重ねによって可能になった行事であり、昌美先生は「それを成し



遂げたのは、会員の皆様、そして、世界各国各地で世界平和の祈り、神聖復活の印を組みつけておられる会員の皆様のご愛念であります」とおっしゃられ、また、「真の意味での神聖復活の時代が始まろうとしています。神聖復活のひびきが、光が、多

くの人たちを神聖へと導いてゆくのです」と話されました。

このような沿革と意義をもつ「神聖復活祭」は、今年、さらに大きく人類を「神聖復活」へと導いてゆくことでありましょう。そのためには、皆様方の心を込めた祈りと印が不可欠です。世界の平和と人類の目覚めと神聖復活のため、どうぞこぞってご参加ください。

世界人類が平和でありますように 神聖復活大成就

「神聖復活祭」実行委員会